

# チャペル週報

No.15

2012.9.20～9.28

しかし、あなたがたの間では、そうではない。  
あなたがたの中で偉くなりたい者は、皆に仕える者になり、  
いちばん上になりたい者は、すべての人の僕になりなさい。

(マルコによる福音書10章43-44節)



神戸三田キャンパスI号館

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

9月20日(木)	神文社法経商国聖和総 榎本 てる子 (神学部准教授) Andreas Rusterholz (宗教主事) 新学期にあたって 打樋 啓 史 (宗教主事) 栗林 輝 夫 (宗教主事) 舟木 讓 (宗教主事) 山本 俊 正 (宗教主事) Eun Ja Lee (宣教師) 「離れてわかること」小 見 のぞみ (聖和短期大学宗教主事) 高 畑 由起夫 (総合政策学部長)
9月21日(金)	院神文経人聖和理 樋口 進 (宗教センター宗教主事) <臨床牧会実習報告> 小 片 聡 (神学部M1) English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事) 舟木 讓 (宗教主事) 住野 公 平 (人間福祉学部職員) 田 淵 結 (教育学部宗教主事) 「秋学期がはじまった！」松 木 真 一 (宗教主事)
9月24日(月)	神経人聖和理 <臨床牧会実習報告> 川 崎 愛 (神学部M1) 舟木 讓 (宗教主事) 秋学期を迎えて 嶺 重 淑 (宗教主事) 聖書物語「奇跡の話」
9月25日(火)	神文社法経商国聖和総 <臨床牧会実習報告> 咸 同 奎 (神学部M1) Andreas Rusterholz (宗教主事) 動詞シリーズ：生きる① 打樋 啓 史 (宗教主事) 栗林 輝 夫 (宗教主事) 舟木 讓 (宗教主事) 山本 俊 正 (宗教主事) 平林 孝 裕 (宗教主事) 芝田 正 夫 (教育学部長) 李 政 元 (総合政策学部准教授)
9月26日(水)	神社法経商人国聖和総 <夏期派遣実習報告> 柳 川 真太郎 (神学部M1) 動詞シリーズ：生きる② 打樋 啓 史 (宗教主事) English Chapel Christian M. Hermansen (宣教師) English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師) 山本 俊 正 (宗教主事) 創立記念日を覚えて 嶺 重 淑 (宗教主事) 創立者たちを覚えて 平林 孝 裕 (宗教主事) 「いっしょに育つ」吉 新 ば ら (キリスト教教育・保育研究センター) 秋学期開講礼拝 加藤 知 (理工学部長) 村 瀬 義 史 (宗教主事)
9月27日(木)	神文社法経商国聖和総 <震災を覚えて⑤> 中 島 純 (神学部M1) 永 田 雄次郎 (文学部教授) 動詞シリーズ：生きる③ 中 道 基 夫 (神学部教授) 栗林 輝 夫 (宗教主事) 舟木 讓 (宗教主事) English Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師) 重 政 公 一 (国際学部准教授) 「ハンセン病療養所大島青松園に行って」学生 YMC A 亀 田 啓 悟 (総合政策学部准教授)
9月28日(金)	関西学院創立123周年記念合同チャペル 「123年前に据えられた土台」 Ruth M. Grubel (院長) 西宮上ヶ原キャンパス 中央講堂 聖和理 田 淵 結 (教育学部宗教主事) 「初心にもどって」松 木 真 一 (宗教主事)

- ◇ランパス早天祈禱会 毎金曜日 8:20～8:40 ランパス記念礼拝堂(上ヶ原)  
 9月21日(金) 秋学期を迎えて 平林 孝 裕 (大学宗教主事)  
 9月28日(金) 創立記念日(9/28)を覚えて 樋口 進 (宗教センター宗教主事)

# されば歌わんかな、叫ばんかな…

水 野 隆 一

恥ずかしながら、関西学院大学に入学した頃、《空の翼》の歌詞、ことに、1 節の歌詞の意味がよく分からなかった。

風に思う空の翼  
輝く自由 Mastery for Service  
清明ここに道あり我が丘

北原白秋の心に何が去来したのか、私には知るよしもないが、関西学院での生活も、その最初から数えて 30 年を経てくると、何となく、感じるようになったことがある。

「我が丘」と歌われるように、これは、学生の視点から歌われている歌だ。「清明」が「二十四節気」のひとつであるなら、頃は、4 月初旬、ちょうど入学式が行われる季節に、キャンパスを目指して「丘」を昇ってくる、私たちの姿が歌われている。希望に胸を膨らませ、「空の翼」によって高々と天をも駆けんばかりの、高揚感だ。

ところが、この詞はそこで終わらない。そのキャンパスへの「道」は、「清明」、清く明らかな、3 節に歌われている「理想」を追い求める「道」と重ね合わされている。しかも、「丘」を昇るように、その「道」は決意と努力を要求する。言うまでもない、その「道」とは、“Mastery for Service”を体現する生き方である。

「旅」や「道」を「人生」の隠喩として用いることは、古今東西を問わず広く行われてきたし、それだけに陳腐になりやすい。ところが、白秋の詞は、平凡に墮することなく、キャンパスへの上り坂を、理想へと歩み出す私たち自身の姿へと重ね合わせる。見事と言うほかない。

“Mastery for Service”という「理想」は、3 節で、「遙けし」、自分はまだまだその理想から遠く隔たっていると、詠嘆される。ここからは、スクールモットーとして知られる言葉が、やがては自分を生かす指針となっていったことがうかがわれる。そして、求めれば求めるほど、その理想が「遙か」なものだということが分かってくる。しかし、「士気」、その理想を追い求めようという意気込みは、ますます「冴え」て、はっきりとしていく。あたかも、関西学院での学びが深まるに伴って、真実な生を求める思いが強くなって行くかのようだ。

《空の翼》は、「ふるえ」、発奮しようと、私たち一人一人に語りかけて終わる。創立 123 年を祝うこの季節に、校歌に促されて、改めて、「遙けし理想」“Mastery for Service”を体現するにはどうすればいいのかと、自らに問おう。そして、その実現に向けて、「丘」を昇っていこう。

(神学部教授・学部長)

## ●チャペルオルガニスト募集説明会のお知らせ（神戸三田キャンパス）

神戸三田キャンパスの学生オルガニストを募集しています。オルガニストとして採用されますと、オルガンの個人レッスンを受けることができ、チャペルの奏楽をはじめ、発表会、研修会、コンサートなどを通して、教会音楽を中心とした幅広い知識、技能を身に付けることができます。募集説明会を以下のとおり開きますのでお気軽におたずねください。

（募集説明会の日時・場所）

総合政策学部 9月25日(火)・9月27日(木)・10月2日(火)・10月4日(木)

いずれも、12:50~13:20 II-101（チャペル教室）前にて

理工学部 9月26日(水)・9月28日(金)・10月3日(水)・10月5日(金)

いずれも、12:50~13:20 IV-401（チャペル教室）前にて

（お問い合わせ・資料請求）

関西学院宗教センター 電話：0798-54-6018 メール：organist@kwansei.ac.jp

## ●関西学院会館の日曜礼拝

授業期間中の第二第四日曜日に、教職員と学生有志による礼拝が行なわれます。一部英語を用いるバイリンガル形式です。どなたでも参加できますのでどうぞお越しください。

9月23日(日) 10:00~11:00

関西学院会館ベーツチャペル

## ●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー 14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。(18:00~18:20 1405教室)

9月21日(金) Andreas Rusterholz（文学部宗教主事）

28日(金) 田淵 結（宗教総主事）

## ●関西学院チャペル・オルガニスト秋の発表会

各学部のチャペルで奏楽を担当するチャペルオルガニストはじめレッスン生たち41人が練習の成果を披露します。パイプオルガンに関心のある方、そしてランパス記念礼拝堂に入ったことのない方もお気軽にお越しください。演奏中以外は入退場自由です。

と き：10月6日(土) 10時~16時

と ころ：ランパス記念礼拝堂（上ヶ原）

指導者：高橋明子、太宰まり、能島亜未

主 催：吉岡記念館事務室宗教センター

## ●秋の献血週間のお知らせ

学生会宗教総部では、春の献血週間を実施いたします。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

期 間：10月8日(月)~12日(金)

受付場所：吉岡記念館ラウンジ

主 催：宗教総部献血実行委員会

## コラム：関西学院紹介(1)「宗教センター」

関西学院西宮上ヶ原キャンパスの正門に入ってすぐ右の建物（吉岡記念館）の中に、この『チャペル週報』を発行している宗教センターがあります。

宗教センターは、1952年に関西学院の組織として設置されて以来、関西学院の「建学の精神」であるキリスト教主義教育を支援する働きを担っています。特にチャペルのサポートとして、『チャペル週報』発行の他に、チャペルに欠かすことのできないオルガニストの派遣など音楽関係で支援しています。チャペルオルガニスト養成のため、主に新入生を対象に募集し、オーディションを経て採用し、専門の指導者の下でパイプオルガンの練習を行い、2年目から各学部のチャペルにオルガニストとして派遣しています。また、宗教音楽委員会のもと、聖歌隊、ハンドベルクワイア、バロックアンサンブル、ゴスペルクワイアの音楽団体が結成され、吉岡記念館2階の部屋で練習に励んでいます。これらの音楽団体もチャペルや式典で奉仕をしています。

同じく吉岡記念館2階に部屋を持つ宗教総部は、千川リーダーズクラブと献血実行委員会が、スクール・モットー“Mastery for Service”の精神に基づいて活動を行っています。

吉岡記念館のラウンジは、出会いの場として一般に開放しており、時々展示会も開催しています。ランパス記念礼拝堂では、プロの演奏家による無料のコンサートなども開かれます。礼拝堂と吉岡記念館の間の庭（ベルスクエア）には、聖書に因む植物も植えられており、憩いの空間になっています。